

第5回匝瑳市まち・ひと・しごと創生市民会議 会議録

開催日時
平成 28 年 8 月 3 日 14 : 00 ~ 16 : 10
開催場所
匝瑳市役所議会棟第 2 委員会室
出席者
委員長 鎌田元弘 副委員長 木内成幸 委員 八角勝義、田邊久利、大塚榮一、石井三也、長谷川茂、福井敬、 越川淑美、江波戸友美 (事務局) 企画課：太田課長、林まちづくり戦略室長、伊藤主任主事 産業振興課：木内副主査
欠席者
岩井清、伊藤充児、加瀬功一

※委員については敬称略

協議内容
<p>【会議次第】</p> <ol style="list-style-type: none">1 開 会2 あいさつ3 自己紹介4 議 事<ol style="list-style-type: none">(1) 副委員長の選出について(2) 地域活性化・地域住民生活等緊急支援交付金（地方創生先行型）を活用した事業の効果検証について(3) 地方創生加速化交付金を活用した事業の進捗状況について(4) その他5 閉 会 <p>【議事内容】</p> <p>(1) 副委員長の選出について 委員から木内成幸氏の推薦があり、同推薦に基づき、副委員長を木内成幸氏に決定した。</p>

協 議 内 容

(2) 地域活性化・地域住民生活等緊急支援交付金（地方創生先行型）を活用した事業について

資料に基づき事務局から説明した。主な質疑は次のとおり。

《質 疑》

委員長： 御意見、御質問等があればお願いします。

委 員： 評価はK P Iにより行うとのことですが、そもそも個々の施策が総合戦略の基本目標にどのようにつながり、どのように推進に寄与しているのかという点が不明瞭であると思われます。また、総合戦略策定事業にこれだけの予算を使うのであれば、他の具体的な事業に予算を使った方が良く考えます。さらに、総合戦略には多くの事業が位置づけられていますが、ほとんど手をつけていないように思われます。いかがでしょうか。

事務局： 各事業が総合戦略の基本目標にどのようにつながっているかですが、事業番号の2、3、4、6については、基本目標3「そうさ！！ 匠瑳で育てよう、若い世代の結婚・出産・子育ての希望を満たす」に該当する、子育て支援の観点からの施策です。具体的な事業にも位置づけられています。事業番号5については、基本目標2「そうさ！！ 匠瑳で暮らそう、匠瑳市への定住促進を進める」に該当します。定住促進に当たって、住まいの確保ということは、移住者等の関心が高く、かつ大きな課題であります。本事業は移住者等を住宅面から支援するということを目的の1つとして、実施しています。

続いて、「総合戦略の策定に係る費用が多いのではないか」という御指摘ですが、まず、費用の内訳をお示ししたいと思います。総合戦略策定委員等報償費が約18万円、消耗品費が約43万円、食糧費が約5千円、通信運搬費が5千円、1番金額が大きいのが総合戦略策定支援業務委託料であります。市民や高校生に対するアンケート調査の実施及び結果の取りまとめや、その他戦略策定に当たって様々な観点から支援・アドバイス等をいただいています。委託料は約670万円です。

最後に、総合戦略に位置づけられている様々な事業の進捗状況はとのことですが、まず、この度効果検証していただいている事業は全て総合戦略に位置づけており、総合戦略の策定に先行して、平成27年度に実施しています。また、既存の事業においても、雇用創出、移住定住促進、子育て支援等それぞれの観点ごとに総合戦略に位置づけています。加えて、この後御説明する地方創生加速化交付金を活用した事業についても、国の交付金を獲得し、新規に実施しています。多くの事業を実施する中で、進捗に差が生じることもありますが、引き続き総合戦略の目標年次である平成31年までに事業を進展させ、効果検証を行い、改善点等を次年度に活かしていきたいと考えています。

協 議 内 容

委員長： ありがとうございます。

事務局： いくつか補足をさせていただきたいと思います。まず、総合戦略策定の委託料が高額であるという点についてですが、総合戦略の前段で人口ビジョンを策定しており、専門的な調査・分析が必要なため、専門的なノウハウを有する事業者に委託をしています。計画自体は市が主体となり、市民の皆様の意見等を伺いながら策定しています。また、全国一斉に人口ビジョン・総合戦略を策定しているため、受託業者が重複いたします。つまり受託が遅くなると価格が高くなる傾向にあります。その点を御斟酌くださいますようお願いいたします。交付金を他の事業に使うべきとの御意見についてですが、まず、本交付金は平成26年度の国の補正予算に計上されたものであり、総合戦略策定に先行して各事業の予算に充てるものとされています。金額は市町村ごとに決まっています。地方創生に関して、本日提案したこれらの事業しか行っていないのではなく、本交付金を活用して実施したのがこれらの事業であり、他の事業については他の財源を活用して実施していると御理解いただきたいと思います。

委 員： これらの事業が基本目標のどこに位置づけられているかは承知しています。匝瑳市の強みを活かし、弱みをどのように解消していくのがこの計画に書かれていると思いますが、計画期間の平成31年まで手をこまねているのではなく、単年度ごとに成果と課題を検証していかないと進歩がないと思います。今回御提示いただいている事業だけではなく、他の様々な事業も含めた成果と課題の検証が必要ではないかと考えます。

事務局： 委員のおっしゃることは、ごもつともであると思います。しかし、今回効果検証を行うのは、平成27年度に本交付金を活用して行った事業に関してです。総合戦略策定後に行っている事業は現在進行中であり、効果検証の段階にはありません。新規事業、既存事業を含め、総合戦略に記載のある事業については、平成31年までに順次取り組んでいき、毎年度効果検証を行っていきます。この後御説明する地方創生加速化交付金を活用した事業についても、今後効果検証を行っていきますので、よろしく願いいたします。

委員長： 今事務局が説明した事項がわかる一覧表のようなものがあれば、進捗管理がしやすいと思います。市民の目から見ると、何がこれから行う事業で、何が効果検証を行う事業なのかわかりにくいいため、事業の全体像の中で、これから行う事業と効果検証を行う事業を示していただければと思います。

事務局： いただいた御意見を参考としながら、効果検証の仕方についても今後検討していきたいと思います。

委 員： チャイルドシート助成事業と、子ども医療費助成事業は、今後も行

協 議 内 容

っていく事業であるということでしょうか。

事務局： そのとおりです。既存の事業に本交付金を充てている部分もありますし、トイレの改修等単発的な事業に充てている部分もあります。例えば、空き家バンクの成約助成金については、平成27年度から実施していますが、他に転入者マイホーム取得奨励金を他の交付金を活用して実施しています。様々な事業がありますので、もう少しわかりやすくしていきたいと思います。

委員長： その他、御質問等ありますでしょうか。

委員： 初歩的な質問で恐縮ですが、この先行型交付金は総額いくら入ってきているのでしょうか。また、今回示されている事業の全てが、この交付金を活用して行われているのでしょうか。

事務局： 基本的にそのとおりですが、子ども医療費助成事業については、国の交付金のみでは不足するので、他の財源を活用して実施しています。

委員： 交付金総額はいくらでしょうか。

事務局： 50,498,000円です。

委員： 国の平成26年度補正予算ということで、市の方でも苦労されたことと思います。既存事業に交付金を充当したと思われませんが、戦略を策定して、会議の中で評価をするというレベルに達していないと思います。なぜなら、既存の事業に交付金を充当しているだけであり、戦略とは関係ないと思われるからです。今後、この戦略に基づいてどのような事業を行っていくかが大切で、できれば新規事業が望ましいです。戦略として策定している以上、際立って特徴付ける意識をもって事業を選択していく必要があると思います。そうでないと、総合戦略に対する評価になりません。既存事業を重点的に行ったとしても評価にならないため、新規事業を総合戦略に位置づけて考えていく必要があると思います。

委員長： それは見せ方によると思います。今回は既存事業の子育て支援部分に多く交付金が使われていますが、全体で様々な事業がある中で、まずこれらの事業に充てた理由とともに示すとわかりやすいと思います。地方創生に係る様々な事業の全体像と、効果検証対象事業の位置づけがあるとより良いと思います。

委員： 基本的に資料2に掲載した事業は、市が優先的に行ってきた又は行っていたりとしていた事業、効果が見込める事業であると理解しています。多くの事業が計画の途上にあるため、様々な事業を磨きながら実施していただきたいと思います。

委員長： 空き家バンクや定住促進等についてはいかがでしょうか。

委員： 市には1,300軒程度の空き家があります。中には廃屋もあり、全てが空き家バンクの物件として活用できるわけではありません。ま

協 議 内 容

た、中古住宅を購入して大幅な改修をする場合に、建築確認が必要な場合があり、課題も多いです。移住者等にとって魅力ある地域となるよう、各種施策の周知に努めていただきたいと思います。

事務局： 空き家の話題に関連して、現在、都市整備課で市内の空き家調査を行っています。国の施策では、倒壊等のおそれがある危険な空き家を行政処分できるようにしました。空き家バンクでは空き家の有効活用を目的としています。都市整備課では危険な空き家も含め調査を行っています。現在、空き家の数は1,300軒以上に増えていると思われます。空き家の活用を促すため、今年度固定資産税の納税通知書に空き家バンクのチラシを同封し、制度のお知らせをました。今後、空き家の増加が見込まれる中で、空き家を有効活用し、地方創生につなげていきたいと思っておりますので、御指導いただければと思います。

委員長： 資料からは、リーフレットを同封するだけのように見えてしまいます。様々な団体がかかわり、改善し、実行していくことが見えるのが地方創生の強みであると思っております。それらにも言及した資料を作成するとわかりやすいと思っております。その他、御意見ございますか。

委員： まず、5,000万円強の国の予算を使っていますが、これらの財源は皆さんの税金であることを忘れないでほしいと思っております。次に、資料に事業効果と今後の方針が書かれていますが、PDCAについては、モノづくりの企業で一番大事なのはCとAです。例えば、チャイルドシートの申請が伸びないのはなぜか、その理由を明らかにするのが大切です。事業それぞれに別紙があったほうが良いと思っております。ここまではわかっているけど、ここがわからない、だからこのような対策が必要だといった視点が必要と思っております。また、子ども医療費助成事業について保護者の経済的負担の軽減が図れたとありますが、その結果どうなったのかを知る必要があります。既に行っている良い事業があるならば、さらに周知を行ってほしいと思っております。お金を使う以上、効果が大きい事業に使うべきで、優先順位をつけて取り組んでほしいと思っております。効果検証を行うに当たっては、今回の資料では不足しています。

委員長： PDCAのCとAが地方創生をどう回していくかのキモであると思っております。そのような習慣づけが大事です。その他いかががでしょうか。

一同： なし。

(3) 地方創生加速化交付金を活用した事業の進捗状況について

資料に基づき事務局から説明した。主な質疑は次のとおり。

《質 疑》

委員長： 確認ですが、現在この資料にある2つの地方創生加速化交付金を活用した事業を行っており、総合戦略に沿って実施していることの確認

協 議 内 容

であるということが良いでしょうか。

事務局： そのとおりです。加速化交付金事業については平成28年度中に行う予定で、事業完了した時点で再度効果検証を行っていただきます。本日は経過の報告が主となります。

委員長： 多くの地方創生に係る事業を実施している中で、加速化交付金を活用して行っている事業はこの2つということが良いでしょうか。

事務局： そのとおりです。

委員長： わかりました。委員の皆さん、御意見・御質問等いかがでしょうか。

委 員： 匝瑳市版CCRC構想策定等事業（飯倉地区）の予算が550万円となっていますが、不足しないでしょうか。

事務局： 550万円は協議会の運営費用です。CCRCの総事業費は約40億円と聞いています。

委 員： 40億円は、全て匝瑳市単独という事ではないと理解して良いですか。

事務局： 40億円については、例えば、認定こども園や特別養護老人ホームの建設費を含んでいます。これらの費用は、加速化交付金とは別に国等の補助制度を活用して建設していく予定です。匝瑳市から40億円全額が支出されるということではありません。

委 員： サクセスフルエイジングという言葉がありますが、サクセスフルエイジングシティ匝瑳市というキャッチフレーズと共に市を売り込んでいってはいかがでしょう。

事務局： 貴重な御意見として参考にさせていただきます。キャッチフレーズについては、事業主体と協議して検討していきたいと思えます。

委 員： 市民の目線から匝瑳市をどう発展させていくかを考え、キャッチフレーズを提案しました。国の経済対策も加味しながら、事業を研究していただきたいと思えます。

委員長： 他にいかがでしょうか。

委 員： 植木の事業について、植木産業の振興と新たなビジネスの開拓が目的とされていますが、新たなビジネスの開拓は植木めぐりツアーのみの印象があります。その点いかがでしょうか。

事務局： 市内の植木産業が優れているにもかかわらず、観光資源として活用しきれていないのが現状です。今までは植木を育てて売るだけでしたが、植木の剪定や造形等の技術面を活用することにより、新たなビジネスを見出せると考えています。例えば、植木の剪定体験等が考えられますが、それらの出発点として、植木めぐりツアーを観光部門とも連携しながら実施していきたいと思えます。

委員長： 他にいかがでしょうか。

委 員： CCRCに関して、移住者確保による人口減少の改善が効果として挙げられていますが、事業主体である九十九里ホームが運営する各種

協 議 内 容

施設で入居者待ちの状況が生じていると聞いています。市内外の需要の兼ね合いを考えると、移住者の確保に関しては懸念があります。また、まちづくり協議会には地域住民も含まれていますが、地域の方々はCCRCの事業に対して何を期待しているのか教えていただきたいと思います。

事務局： 移住者の確保については、サービス付き高齢者向け住宅の活用を想定しており、50戸程度の確保を見込んでいます。一方、特別養護老人ホームについては100人の定員を見込んでいます。平成28年1月現在において、海匝地域の特別養護老人ホーム待機者数は170人程度となっており、本特別養護老人ホームにより、これらの待機者の解消・軽減を図っていきたいと思います。地域の方々が何を期待しているかについては、今まで3回会議を行ってきましたが、地域の方々と勉強しながら進んでいる状況のため、直接的に御意見等はいただけていないところです。

委員長： 他にいかがでしょうか。

委員： CCRCに関して、加速化交付金は事業の調査等に活用していると理解しました。総事業費は約40億円とのことですが、これについても加速化交付金は該当するのでしょうか。

事務局： 加速化交付金は、各種マーケティングや説明会運営費等、協議会の運営費用に充てます。施設整備には充てません。

事務局： 加速化交付金は国の平成27年度補正予算で計上されたものであり、単年度の交付金です。基本的にソフト事業を対象としており、ハード事業の実施は制限されています。認定こども園や特別養護老人ホームの施設整備に関しては、既存の補助制度を活用して行います。また、平成28年度からは地方創生推進交付金が創設されており、ハード事業については基本的に総事業費の50%以内とされています。地域交流施設整備等には既存の補助制度がないため、この交付金を活用できると聞いています。これまでの交付金は市町村ごとに枠が定められていましたが、昨今の地方創生に係る交付金は、やる気のある自治体のみ交付されており、全国一律に交付金が交付されるという状況にはありません。市民の皆様の御意見を伺いながら、匝瑳市の地方創生を考えていきたいと思っています。

委員： 市として加速化交付金を活用した2つの事業を強く推し進めていくという姿勢は理解しました。実際に事業を進める中で、匝瑳市の負担はどの程度生じてくるのでしょうか。

事務局： CCRCに関して言えば、認定こども園の施設整備に既存の補助制度を活用する中で、市の負担も生じてきます。地域交流施設等については既存の補助制度がないため、地方創生推進交付金を充てていくこととなり、事業主体への助成を市から行います。それ以外の事業につ

協 議 内 容

いても、内容により助成をしていくもの、民間活力を使っていくもの、様々です。現段階でどのくらいとは申し上げられませんが、認定こども園に関して言えば、現在の制度では4分の1は地元市町村の負担となります。匠瑛市の活性化につながるものは積極的に推進していきますので、何らかの財源を確保しながら取り組んでいきたいと思えます。

委 員： 市の負担が生じるということで理解しました。地方創生の概念は雇用創出と定住促進が中心になると思えますが、市の特色を活かし、市民の理解を得ながら、匠瑛市独自の取組を進めていってほしいと思えます。

委 員： 認定こども園の建設に関して、他の保育所との競合については想定していますでしょうか。

事務局： あかしあ幼稚園の運営を九十九里ホームが引き受けている状況で、それをベースに認定こども園に移行します。老朽化が進むあかしあ幼稚園の建て替えに当たり、認定こども園として整備をするということです。あかしあ幼稚園の定員は100名ですが、定員を若干増やすのは、各種施設の職員のための保育も考えてのことです。施設規模については、近隣の幼稚園や保育園と協議の上で計画を立てています。

委員長： 事業主体が決まっているのは強みですが、関係委員のみで意見を閉じてしまうと、新しい発想や全市的な視点が生まれにくいと思えます。広く意見を聞くこと、関連づけることが大切です。

委 員： 国の交付金等を十分に活用し、計画・実行していただきたいと思います。

委員長： そろそろお時間ですが、最後に御意見等ございますか。

委 員： 総合戦略を策定した以上、しっかりと戦略を活用して、取り組んでいただきたいと思います。各分野で御活躍の委員がいますので、会議の場以外でも意見を聴取し、予算化の際には意見をくみ上げていってほしいと思えます。

(4) その他

委員長： 委員の皆様から何かございますか。

一 同： なし

委員長： 事務局から何かありますか。

事務局： 次回の市民会議は加速化交付金の効果検証を予定しており、年度末か来年度当初に開催いたします。また、本日の会議の議事録を、委員長の確認を受けた上で市ホームページに公開する予定ですので、よろしく願いいたします。

委員長： 委員長だけでなく、副委員長の確認もお願いいたします。

事務局： 承知しました。

協 議 内 容

以 上